

# 青森消化器がんSUMMIT

がん患者の症状緩和を考える

- 「がん対策推進基本計画」において、「治療の初期段階からの緩和ケアの実施」が、取り組むべき課題として位置付けられております。特に、オピオイドに関しては早い時期からの使用が推奨され、その重要性は高くなっています。
- 今回、東邦大学より長島先生をお招きし、ご講演を頂いた後、ご参加の皆様が日常の診療の場で感じておられる疑問点などについてご討議頂く場をご用意させていただきました。

## プログラム

座長：弘前大学医学部医学研究科

消化器外科学講座 教授 袴田 健一 先生

### ●Session1 (19:00-19:30)

## 『 オピオイド鎮痛薬の新たな知見 』

演者：塩野義製薬株式会社 がん疼痛克服推進室 下田 耕司 氏

### ●Session2 (19:30-20:30)

## 『 癌治療医が実践する緩和医療 』

演者：東邦大学医療センター佐倉病院 外科 准教授 長島 誠 先生

### ●質疑応答・ディスカッション (20:30- )

日時：2012年2月3日(金) 19:00～

場所：ベストウェスタンホテル  
ニューシティ弘前 トパーズの間

〒036-8004 青森県弘前市大町1-1-2  
TEL：0172-37-0700



会終了後情報交換会をご用意させていただきます

主催：ムンディファーマ株式会社 / 塩野義製薬株式会社